

あそびのまなび

今回のテーマ：「行動を理解しよう①」

生活の中で、お子さんの行動に困ったことはありませんか？たとえば、お店で寝転がってだだをこねるとか、友だちの髪を引っ張るとか……注意しても注意しても何度も繰り返される行動、なんとかしたいものです。

すぐに解決できる方法を知りたいところですが、実は困った行動には、お子さんの何かしらの“意図”があります。それを見極めないと、なかなか対応策はできません。



子どもさんの困った行動のほとんどは、以下の4つの「こどもの望み」が原因となっていることが多いと言われています。

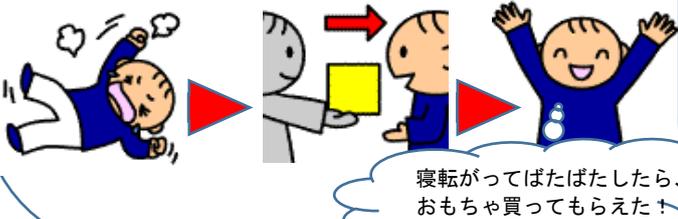
原因がわかると、対処の方法がわかったり、声のかけ方が変わったりしますね！



1. 要求をかなえてほしい

おもちゃがほしい、何かをやりたいなど、したいことをかなえたくて、困った行動になっている場合があります。

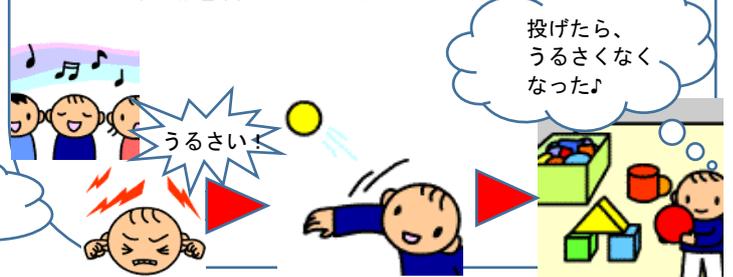
例えば、おもちゃ売り場でかんしゃくを起こしたり、だだをこねたりした時、結果的におもちゃを買ってもらえた(要求がかなった)場合など。また要求をかなえるために、かんしゃくやだだこねを、結果的にする回数が増加する場合があります。



2. 嫌なことから逃げたい

嫌な状態から逃げることができたり、終わることができたりした時に、不適切な行動が繰り返される場合があります。

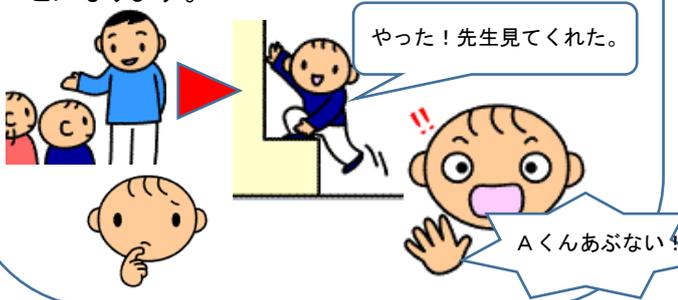
例えば、みんなが歌っている声がうるさくてその場から逃げたい時に、手当たりしだいに物を投げたら、別室に行くことができました。「物を投げる」ことで回避することができたので、嫌なことを避けたい時に同じ行動を繰り返しやすくなります。



3. 注目されたい

相手や周囲、家族や先生などの注目を得たい時に困った行動をする場合があります。

例えば、危険な高いところに登ったら、先生が見てくれる、近づいてくれるなどの注目を得られると、「注目」を得るために「高いところに登ること」を繰り返すことになります。



4. 好きな刺激がほしい

例えば、服を噛んだりつばを吐いたり、友だちをふいに押したりするなど、問題となる行動が繰り返される場合があります。

実は、その行動が生み出す刺激が快くて、何度も繰り返してしまいうのです。快く感じる刺激は、不安や退屈がまぎれるので、不安や退屈を感じる時に生じやすいと言われています。

